

ご近所のお付き合いも希薄になり、知り合いの葬儀に参列する機会が減ってきました。義理人情の感覚が薄れ、葬儀に参列するほど深いお付き合いでないと感じる境界線がさがってきているのです。以前勤めていた会社でも、義理人情では参列しない人が増えているというのが実感です。

必然的に、多くの方々の参列がないとなると祭壇の規模にもつながっていきます。少し無理をしても体裁を整えないと、という気持ちになくなるのです。でも、葬儀不要までの感覚には至っていません。

どうせお金を使うなら、亡き母の父の・・・、好きだったヒマワリを使いたい、バラを使いたい・・・。ふと思うはず、うちのお寺さん、ヒマワリって、バラって大丈夫なのか、叱られないかな、って。

そんな時私達にお聞きください。経験豊富な当社のスタッフが小さな疑問・お悩みにもお答えいたします。

コロナ禍の社葬って出来るものなのか。最近個人葬の広告で、弔問受付時間を設けているけど、社葬だと弔問者数もケタ違いに多いし三密徹底も心配だな。本当に出来るのかな。

大丈夫、実績と経験豊かな当社がお手伝いいたします。当社のホールはもとより、市内ホテルでの開催実績がございます。ご安心ください。

葬儀社ってなに。

・故人様とご家族ご友人が心を通わす、「はじまりの儀式」をお手伝いする会社。

・お寺様と故人様ご家族を繋ぐ、架け橋となる会社。

・生前の故人様が、思い描く弔われ方を真摯に受け止め、その実現に向けて努力・実行する会社。

通常埋骨・合葬墓・自然散骨・永大供養等々

偶然から始まる小さな鼓動、光り輝く生への営みが始まる瞬間。その輝きを永遠の輝きにいたしましょう。私共がお手伝いいたします。皆様のお心に永久の光がともせますように。

社員スタッフだけが知っている  
葬儀の秘密についての物語

小川 光人



## 「青森を元気に!」

「青森を元気に!」が私たちの合言葉です。

「死」はとても悲しいことです。

しかし、その「死」に向き合うことで

「明日からお父さんのためにもっと頑張るからね!」

「お母さん本当に産んでくれてありがとう!」

と新たな一步を踏み出せるキッカケになることもあります。

「死」と向き合うためのサポートが出来るよう、

お客様に寄り添う葬儀社でありたい、

それが私たちリンクモアの思いです。

そして、大切な時を過ごされた後に「明日から頑張ろう!」

と思っただけのサポートを

させて頂きたいと考えております。

「青森を元気に!」それが私たちの思いです。

# Mitsuhito Ogawa

## 葬儀の秘密についての物語



### COMPANY ~会社情報~

株式会社 リンクモア



リンクモア(旧:青森冠婚葬祭互助会)は、昭和42年(1967年)に青森市に設立以来「心の絆をだいに」を理念に掲げ、運営を行ってきました。私たちは冠婚葬祭業という人生の節目となる儀礼の中で、この世の中は一人で生きているのではなく、様々な方と繋がり、そして、助け合って生きている、「冠婚葬祭は人間関係に築き(気づき)、確認する接着剤」ということを伝えていければと考えております。これからも「心の絆をだいに」という経営理念のもと、(地元のための、地元による、地元の互助会)として、青森市に、貢献いたします。

#### 会社概要

社名: 株式会社リンクモア

住所: 青森市中央1-27-10

代表者: 代表取締役社長 船橋 素幸

これまでも、これからも...  
地域の皆様と心の絆をだいに。  
リンクモア!



ゲストハウスのような空間で大切な時をゆっくりと

家族葬邸宅カシタではゲストハウス(迎賓館)のような空間で大切な時をお過ごしいただきたいという想いで建設いたしました。ご家族が集まり、ゆっくりと想い出を思い起こしながら過ごす。カシタでは、そんな空間と時間を提供してまいります。



一人ひとりの人生という物語。決して同じストーリーはありません。だからこそ、平安閣では、一人一人に合わせた「世界に一つだけのお別れの刻(とき)」を手作りでお手伝いさせていただきます。どのようなご要望でも構いません。私たちに一度、想いをお聞かせください。あなたらしいお別れの刻をご提案させていただきます。